

in _____
Roppongi-itchome,
六本木一丁目
Kamiyacho,
神谷町
Tameike-sanno
溜池山王

good things

この街で
見つけて、知って、
もっと楽しむ。
74のモノとコト。

contents

すてきな朝の過ごし方
外国人×赤坂氷川祭
大使館のみなさんのとおき
アークヒルズ音楽週間
アンティーク、アートと出会う
深夜までやっているバー
エピソードのある手土産
食の世界旅行に出かけよう

Global Neighborhood



Global Neighborhood

この街に暮らす人、
働く人、訪れる人……。
“世界のお隣さん”の日常や
文化をご紹介します。

Enjoy the morning

平日も、休日も。すてきな
5つの朝の過ごし方、教えます。

場所柄、世界各国から訪れるVIPや
ビジネスパーソンなども多くカフェ
内には様々な国の言葉が飛び交う。

ホテルオークラ伝統の味。
フレンチトーストでリッチな朝食を

一日のはじまりには、おいしいものをゆっ
くり楽しみたい。そんな人におすすめなのが、
ホテルオークラ東京にある「ダイニングカフ
ェ カメリア」。“スタイリッシュニューヨー
ク”がコンセプトの明るく広々とした店内で
は、モーニングbuffetのほか、伝統のフレ
ンチトーストも味わえる。

古くから愛され、世界中にファンを持つ
フレンチトースト。「ダイニングカフェ カメ
リア」では、前々日にパンを切って乾燥させ、
前日に牛乳、砂糖、バニラの香りを混ぜた卵
液に丸一日浸け込み、当日オープンで約15
分焼き上げる。淡いきつね色でふっくら厚み
があり、口に入れるとプルンとして、まるで
プリンのように。シンプルながら、手間をかけ
て作られた贅沢な味わい。「まずは焼きたて
をそのまま、あとはメーブルシロップとバタ
ーで味を変えながら楽しんで」とシェフ。あ
る国家元首が「世界一のフレンチトースト」
と絶賛したというのも、うなずける一皿だ。



ホテルオークラのサンドイッチブレッドを使用。サ
イトでレシピも公開している。数に限りがあるので、
予約がおすすめ。1300円(2P)、サービス料別。

コーヒーショップ
ダイニングカフェ カメリア

港区虎ノ門2-10-4 ホテルオークラ東京 1F
☎03-3505-6074 6:30～24:00(朝食～10:00、土・
日・祝～10:30)／無休

パリを思わせるクラシックな
店内で本場の味を満喫



PAUL 六本木一丁目店

港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー
1F ☎03-5545-9515
平日8:00～21:00、土10:00～20:00、
日・祝10:00～18:00／不定休

老若男女に人気の品数豊富な
モーニングbuffet



カスケイドカフェ

港区赤坂1-12-33 ANAインターコ
ンチネンタルホテル東京2F
☎03-3505-1185
6:00～22:00(朝食～10:30)／無休

こだわりの豆で一杯ずつ。
コーヒーと過ごすひととき



BE A GOOD
NEIGHBOR COFFEE
KIOSK ROPPONGI

港区六本木1-4-5
アークヒルズサウスタワーB1F
☎03-3586-1025 平日8:00～22:00、
土・日・祝10:00～21:00／不定休

ジムで汗をかいて
すっきり一日をスタートする



エスフォルタ六本木

港区六本木1-6-1
泉ガーデンテラス2F
☎03-3560-3466
7:00～23:00(日・祝～20:00)／不定休



Japanese Festival

外国人も神輿を担ぎ、
山車を曳く、赤坂氷川祭。

赤坂氷川神社の創立は、天暦5年（951年）。現社殿は8代将軍徳川吉宗が創建、震災や戦火を逃れて残った、歴史ある神社だ。都重宝建造物に指定される御社殿は総檜造り銅葺朱塗で、格天井には日本画家・川合玉堂の弟子、長華崖による花鳥図、壁間には宮部衆芳による鳳凰が描かれ、壮麗さは都内でも屈指。

毎年9月に行われる氷川祭の中で、近年話題を呼んでいるのが神幸祭だ。祭といえば神輿をイメージするが、実は江戸時代に主流だったのは山車。赤坂氷川神社に伝わるのは、車輪の付いた土台に上下に動く人形が据えられている「江戸型」で、奇跡的に残されていた人形や部品をもとに、修復・製作を行

い、2007年、80年ぶりに復活した。吉宗就任300年記念となる2016年は、東京大空襲での消失から復活した宮神輿とともに、人形を載せた山車が街を練り歩く。事前に申し込めば山車は誰でも受けるため、若い男女はもちろん、高齢の方や子ども、外国人の姿も。そんな光景も、このエリアならではの。



インドの
友人に自慢
しました！

日本文化を知るだけでなく
地元の人との交流の場に

大学で日本語を専攻し、各地の寺社仏閣を訪れるほど日本好きのミリンドさん。日本文化をもっと理解したいと氷川祭に参加した。「神輿を担いだり、声を出したり、お酒をいただいたり。地元の人たちとふれあえたことが何より楽しかったですね」。



ミリンド・ハサムニスさん
(インフォシスリミテッド)



上／源頼朝や源頼義、恵比寿など、人形を載せた山車が練り歩く、豪快な姿が観客の目をひく。土台や幕板、欄間、人形の腕など江戸時代から残されていた部品をもとに、時間をかけて修復を行い、2007年に一部復活した。下左／夜の赤坂の街を回る「宵宮巡行（よいみやじゅんぎょう）」ほか、境内に屋台が並び盆踊りは、風情があって人気。下右／山車に加えて、町会神輿も街を練り歩く。

赤坂氷川祭

日程：9月中旬
場所：赤坂氷川神社
港区赤坂6-10-12

6

たくさんの大使館が集まり、そこに勤務する人たちも数多く暮らすこのエリア。ふだんは、どこでどんな時間を過ごしているの？ 中には意外なセレクトも。

Embassies

大使館のみなさんに
聞きました。あなたの選ぶ、
とおきは？

スペインに
ゆかりある画家の展覧会や
音楽家の演奏会を定期的に
開催しています。ぜひ大使館に
お越しください。



スペイン
大使館
ゴンサロ・デ・
ベニート大使



日本とスペインの交流を
象徴するお散歩コース

毎朝ジムに通う道すがら楽しむ散歩コースは、日本スペイン交流400周年記念の彫刻がある「アークヒルズ仙石山森タワー」、「スペイン坂」「泉通り」。桜の季節がお気に入り。

泉通りの桜

右上が、スペイン人作家、アルトゥロ・ベルネード氏による彫刻「交流年」。



私たち家族にとっては
日枝神社も思い出の場所。
新年には初詣、娘が誕生した
ときにはお宮参りに
行きました。



バーレーン王国
大使館
ハリール・ビン
・イブラヒム・
ハッサン大使



奥様が足しげく通う
こだわりの食料品店

来日して10年来、大使館のあるこの街に居を構える大使が厚い信頼を寄せる「福島屋」。全国の生産者とともに作る生鮮品や“添加物不使用・国産”を追求した惣菜が並ぶ。

福島屋 (ナチュラルフードマーケット)

港区六本木1-4-5
アークヒルズサウスタワーB1F
☎03-6441-3961 平日8:00～22:00、
土・日・祝10:00～21:00／不定休



スウェーデン人は
みんな日本人がふだん
食べている和食に関心が
あります。風情もあって
最高ですね。



在日スウェーデン
商工会議所
ハンス G.
ロディーネル
さん



居酒屋「竹やん」で
“真の日本”を体感

日本に来て34年目、ハンスさんの行きつけは、煮込みや唐揚げ、イカの丸干しなどが味わえる、30年以上続く居酒屋。この雰囲気ハマリ、来日するたびに足を運ぶ関係者も。

竹やん

港区六本木3-4-3 マサキビル1F
☎03-3584-4359 11:30 ~ 15:00、
17:00～5:00／日・祝休



— Column — 年に一度、アメリカ大使館宿舎が開放される日



一般の人がアメリカ大使館宿舎の敷地内に入れる日があるのをご存じだろうか？ それがアメリカ大使館が主催する交流イベント「コミュニティ・フレンドシップ・デー」。在日米軍バンドによるライブやパレード、フェイスペインティングなどのほか、ハンバーガーやホットドッグといった本場のグルメブースも出店。毎年、前売券が完売してしまうほど。

コミュニティ・ フレンドシップ・デー

日程：8月下旬
場所：アメリカ大使館宿舎
港区六本木2-1-1
※6歳以上1500円、
5歳以下無料、定員3500人



12

Music Week

街じゅうが心地よい音楽であふれる
サントリーホール フェスティバル／アークヒルズ音楽週間。



写真提供：サントリーホール

芸術の秋、この街には、音楽を楽しめる2つのイベントがある。1つ目はクラシック音楽の祭典「サントリーホール フェスティバル」。毎年10月から11月にかけて約2ヵ月間にわたって、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など世界的な指揮者・アーティストを招いた豪華な演奏会が目白押し。着飾った観客たちで街は活気づく。

そして2つ目は、“音楽がであう。音楽にであう。”をテーマにした「アークヒルズ音楽週間」。音楽を身近に感じられる地域密着型の音楽祭というだけあって、アーク・カラヤン広場やサントリーホールをはじめ、周辺的美術館やホテル、大使館、カフェにレストラン、泉ガーデンや赤坂インターシティのロビーなど、開催場所はさまざま。クラシック、ジャズ、和楽器の演奏など、街の至るところに世界中の上質な音楽が鳴り響く。クラシック音楽が根づく街で、見て、聴いて、さわれる、豊かな音楽体験をどうぞ。



上／2011年にスタートした「サントリーホール フェスティバル」には、世界のトップアーティストが多数出演する。2016年は、開館30周年を記念した特別豪華な内容に。下左／通常は非公開のサントリーホールの屋上庭園も一般公開された。下右／カラヤン広場ではライブやコンサートが楽しめるほか、楽器の体験や販売、子ども向けワークショップも。2015年は周辺の18施設で開催され、1万人以上が参加した。



名指揮者ヘルベルト・フォン・カラヤンの名を冠した広場はアークヒルズと音楽とのつながりを表す。ウィーンにあるカラヤン広場にも同じ看板が。

アークヒルズ音楽週間

日程：10月上旬
会場：アーク・カラヤン広場、サントリーホール、赤坂インターシティ、泉ガーデンなどエリア内の各施設

13

モノとの“一期一会”を楽しむ都市型蚤の市

雑貨や家具、古着にジュエリー、クラフト、本など。ヨーロッパのアンティークを中心に、現代の暮らしに合ったセンスのいいアイテムが集まる「赤坂蚤の市」。2014年4月にスタートし、毎回約50店が出店。世界にひとつだけのモノとの出合いに加え、キッチンカーによるおいしいフードなど、お楽しみが盛りだくさん。



赤坂蚤の市 in ARK HILLS

港区赤坂 1-12-32
アークヒルズ アーク・カラヤン広場
毎月第4日曜 11:00～17:00

14



Authentic Style

骨董、アート、
ヴィンテージマンション。
古き良き本物と出合う。

美術館や博物館など文化施設をはじめ、新旧・国内外のさまざまなカルチャーに触れられるスポットや建物をご紹介。ここは、長い歴史と伝統ある本物、そして感性を刺激する新しい価値に出合える街。



1917年に設立された
日本で初めての私立美術館

実業家・大倉喜八郎氏と、その息子でホテルオークラ創設者の喜七郎氏が集めた日本・東洋の古美術品や近代絵画など約2500件を収蔵。普賢菩薩騎象像、古今和歌集序をはじめ国宝や重要文化財も。

おおくらしゅうごかん
大倉集古館

15

港区虎ノ門 2-10-3
☎ 03-5404-4040
※改修工事のため2019年夏頃まで休館

洗練された空間で
新たな美と出合う

現代の陶芸作品を紹介する美術館。展示作品のほか、書家・篠田桃紅氏の作品を配したエントランス、ガラス作家・横山尚人氏によるガラスの手すりの螺旋階段と、非日常感ある美しい空間も見どころ。



まぐちかんじつ ども
菊池寛実記念 智美術館

16

港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル ☎ 03-5733-5131 11:00～18:00／月・展示替
期間休（月曜が祝日の場合、翌火曜が休館）

外国人向け賃貸住宅の
バイオニア的存在

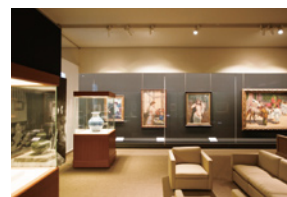
港区に数多く存在する高級賃貸住宅「ホームマット」シリーズ。高い天井、ゆったりとした間取りに共用部、外国製キッチンや暖炉といった先進的な仕様に、石畳や和庭など日本の要素を融合したデザインが評価されてきた。71年竣工の「ホームマット プレジデント」は瀟洒な佇まい。そのフィロソフィは、05年「ホームマット バイカウント」にも受け継がれている。



ホームマット プレジデント

17

港区六本木 1-3-20



青銅器から近代絵画や工芸まで
多様な住友コレクション

住友家15代当主・春翠氏が収集した世界的にも評価の高い中国古銅器と鑑鏡はじめ、中国・日本の書画や洋画、茶道具などを所蔵。京都本館と東京分館の2カ所で収蔵品や関連作品の展覧会を開催する。

せんちゅうはつかん
泉屋博古館 分館

18

港区六本木 1-5-1 ☎ 03-5777-8600
10:00～17:00／月休



バーテンダー世界大会 ファイナリストのカクテルを堪能

バーテンダーの及川浩司さんは、2012年「ボンベイ・サファイア」主催で行われた「World's Most Imaginative Bartender」の日本代表にして、ファイナリスト。彼が考案する月替りのスペシャルカクテル（1700円・サービス料別）は“和”がテーマ、柿や生薑など季節の果物や野菜を用いたジュシーな味わい。ステーキハウスで提供する熟成肉も人気。



Ruby Jack's Steakhouse & Bar

19

港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー
2F ☎03-5544-8222 月～木・土11:00～
24:00、金～26:00、日・祝～22:00／不定休

Night Life

深夜までやっている“バー”で
達人の技と会話を楽しむ。

落ち着いた空間で、達人たちの仕事を
眺めながら料理やお酒を楽しむ。遅め
からの会食や、残業後にも立ち寄れる、
ちょっと大人な夜の過ごし方をご案内。

幅広い年齢層に支持される 心地よいバーテラス

“アメリカ西海岸のバルコニー”をイメージした空間で、旬の食材を枠にとられない自由なスタイルで調理したメニューが自慢。レストランは、オープンキッチンから漂う音と香りに包まれる。併設されたバーには開放的なテラス席もあり、アームチェアに身を委ねてゆったり語らうことも。周辺で働く若い世代を中心に、幅広い年齢層から人気を集めている。



balcony Restaurant & Bar

21

港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー
3F ☎03-3560-5013 11:30～15:00、
18:00～23:00／バー 月～木17:30～
26:00、金～27:00（土・日・祝は貸切）

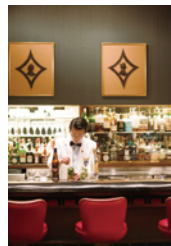
和の伝統美を感じるホテルに 佇むスコティッシュバー

タータンチェックの絨毯に、スコットランドの衛兵が持つ太鼓のテーブル。ここはホテルオークラ東京別館がオープンして42年、ホテル内で唯一、開業当時のデザインのままの場所。ジョン・レノンが愛したバーとしても知られ、彼が座った革張りのシートも張り替えながら長年使われ続けている。200種以上のスコッチほか、シガーを楽しむこともできる。

スコティッシュバー バー ハイランダー

22

港区虎ノ門2-10-4
ホテルオークラ東京1F ☎03-3505-6077
11:30～25:00（日・祝～24:00）／無休



good things



築地すし好 JIN 仁

20

港区赤坂1-12-32 アーク森ビル1F
☎03-3582-1555 平日11:00～14:00、
17:00～27:00、土11:00～27:00、
日・祝11:00～22:00／無休

Global Neighborhood



パリのエスプリ薫る 独創的で芸術性の高いスイーツ

ミツ星シェフとして名高い美食の巨匠、ビエール・ガニエールがプロデュースするパティスリー専門店。ガニエールの世界を表現する芸術的なケーキやパリのレストランと同じレシピで作られるパン、焼き菓子や惣菜がそろ。人気はケーキ・シトロンほか4種のケーキ（3400～3600円）、ピンクの豹柄が目を引くラ・バンテール・ローズ（600円）など。



ビエール・ガニエール パン・エ・ガトー

23

港区赤坂1-12-33 ANAインターコンチネンタルホテル東京2F
☎03-3505-1111 平日7:00～20:30、
土・日・祝8:00～20:30（ケーキ10:00～、
デリカテッセン11:00～）／無休



ゆうしやく 有職

25

港区赤坂2-2-21 永田町法曹ビルB1F
☎03-3560-7577
9:00～17:00（日～15:00）／無休

素材を吟味し、一つひとつ 丁寧に包まれる茶懷石寿司

ちまき寿司と茶巾を考案した店としても名高い老舗。笹に包まれた円錐形のちまき寿司（1本432円）は鯛、海老、鱈、鰻、玉子に季節の魚の全6種、開くと清々しい笹の香りとともにひとロサイズの寿司が。手を汚さずに食べられるので観劇や楽屋見舞いの需要が高く、お祝いごとにも重宝されている。外国人客には色鮮やかな茶巾寿司（1ヶ折756円～）が好評。

Souvenir

名店には必ず
エピソードのある手土産が。

お呼ばれや帰省には欠かせない手土産。長年愛される名店ならではのエピソードも添えて手渡せば、いつもより会話が弾むこと間違いなし。



テイクアウトコーナー シェフズガーデンカメラ

24

港区虎ノ門2-10-4
ホテルオークラ東京1F
☎03-3224-6654
6:30～24:00（ケーキ11:00～）／無休

半世紀、変わらぬレシピで 作り続けられる逸品

甘いメレンゲ、レモンの香りとほのかな酸味を感じるフィリング、サクサクのパイ生地。そのバランスが絶妙のレモンパイ（1ホール3888円）は、材料も作り方もごくシンプル。開業当時の味を守り続け、世代や国籍を問わず多くの人々を魅了し続ける。ブリオッシュ生地にアーモンドクリームを巻き込んで焼いたシュネイク（2個390円）も開業からの定番。

—Delivery—

幕末から受け継がれる 伝統の味を自宅でも

創業200余年、江戸末期から続く鰻専門店。厳選した国内鰻をじっくりと蒸し、創業以来受け継がれてきたたれにつけて一枚一枚炭火で焼き上げる。大名屋敷にも届けていたという出前は、写真の鰻重（3800円）ときも吸（310円）のほか、蒲焼と柳川。温かさを保つ専用の銅壺、出前カゴもあり。



野田岩 麻布飯倉本店

26

港区東麻布1-5-4 ☎03-3583-7852 11:00～13:30、17:00～20:00（注文の電話のみ随時受け付け）／日・7～8月の土用の丑の日休

Food Journey

東京のど真ん中で
食の世界旅行に出かけよう！

Germany



なじみがなかったドイツ料理を
日本に広めたシェフの店

「日本人を招待したくなる店を作りたい」というドイツ人外交官の要望に応じて、ドイツ料理の第一人者、野田シェフが開いた店。現地に赴き、地域によって異なる食文化を学んだシェフが作る料理は、日本人が持つドイツ料理のイメージをいい意味で覆す。叩いて伸ばした仔牛のもも肉に、ドイツパンから作った細かいパン粉をつけて焼いたウィンナーシュニッツェル（3200円）はサクサクの食感、シンプルながら奥深い味に驚き。



レストラン
ツム・アインホルン

27

港区六本木1-9-9 六本木ファーストビルB1F ☎03-5563-9240
平日 11:30～15:30、17:00～22:00、
土 17:00～22:00 / 日・祝休



Spain



昼も夜も気軽に立ち寄れる
食材にこだわったバル

西麻布「フェルミンチョ」の2号店で、昼はスペイン風サンドイッチ「ボカディージョ」はか肉や魚のランチが、夜は本格的なタパスが味わえるバル。平日は主にオフィスワーカー、土曜日は家族連れでにぎわう。夜の人気は薩木シェフが作る限定5皿のスペシャルタパス（918円）。写真はスペイン料理のエスカリバードをアレンジした焼きなすと鴨の燻製。最高級のイベリコ豚や赤土で育てた無農薬野菜など食材にもこだわっている。



フェルミンチョ ボカ

28

港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー1F ☎03-6426-5760
11:00～16:00、17:00～23:00（土～
22:00） / 日・祝休



U.S.A.



専用窯を使い高温で焼き上げる
熟成肉のステーキが絶品

「おいしいステーキが食べたい」と思ったらこちらへ。「BLT STEAK」はアメリカでもっとも有名なステーキハウスのひとつ。ステーキはUSDA（アメリカ農務省）認定の格付最高位、プライムグレードの牛肉を使用。自然熟成後、専用の窯で925度で、外はカリッと中はジュシーに焼き上げる。フィレとサーロイン、2つの味が楽しめるTボーンステーキ（750g、1万6200円）は、2～3名でシェアを。ソースも8～9種から選べる。



BLT STEAK
ROPPONGI

29

港区六本木1-6-1
泉ガーデン5F ☎03-3589-4129
11:30～15:00、17:00～23:00 / 無休



China



落ち着いた空間で楽しむ
あっさり味の中国家庭料理

国際的に活躍する料理研究家・馬渥伯昌氏が三田で開業、47年営業したのち、この地に移転して4年目。油は植物性で最低限に抑え、本場の食材や調味料をふんだんに使った料理には、親子三代で通い続けるファンも。炒めた肉類や野菜を皮に包んで食べる中国北部の伝統料理、春餅（1人前5000円、夜のみ税・サービス料別）や発酵させた白菜を使った火鍋が評判。中国で格式が高いとされるロイヤルブルーを基調にした内装も印象的。



華都飯店

30

港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワーB2F ☎03-3587-9111 11:30～14:30、17:30～21:30（土・日・祝～20:30） / 無休

Mexico



手作りトルティーヤとソースで
本場の味とおいしさを実現

オーナーがサンフランシスコで食べたタコスのおいしさに衝撃を受け、「日本にもこの味を広めたい」と1年前にオープン。コーントルティーヤはアメリカから輸入した粉で毎日手作り。中でもおすすめは煮込んだたっぷりの豚肩ロースに、サルサベルデ（グリーントマトのソース）とオニオン、自家製のフレッシュなサルサソースをのせて食べるカーニタス（700円）。お客さんの目の前で調理するスタイルに、ワクワク感も募るはず。



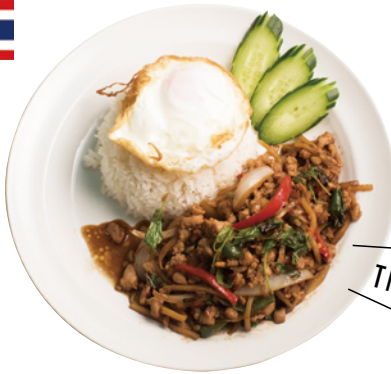
タコリッコ

31

港区赤坂1-12-32
アーク森ビル2F ☎03-3505-1570
11:00～21:00 / 日・祝休



Thailand



アットホームな雰囲気の中で
本格タイ料理を味わおう

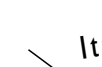
タイ北部、チェンマイやイヤーサーン出身の陽気な料理人たちが作る、現地の味が女性を中心に大好評。ランチでは男性からの注文も多い、写真のカオ・ガバオ・ガイ（昼850円、夜1280円）、カオ・マン・ガイやパッタのほか、日本ではあまり目にする機会のない珍しいメニューもたくさん。辛さの調整や食材の変更などにも快く対応。タイの屋台のように日常的に利用してもらいたいという思いから、価格が抑えめのうれしい。



ソイ六本木

32

港区六本木3-3-6
☎03-3568-4571
平日 11:30～15:00、18:00～23:00、
土 18:00～23:00 / 日・祝休

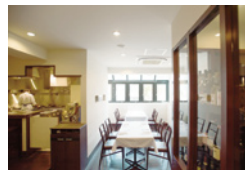


Italy



シェフの食材への思いが伝わる
小さなレストランテ

シェフの北村氏とサービスを担う原品氏が二人三脚で営むイタリア料理店。ベースは、北村シェフが現地を訪れた際に感銘を受けた滋味深い北イタリアの郷土料理。信頼できる作り手から仕入れた食材に真摯に向き合って生み出すここならではの味に魅せられる常連も多い。注目は熟成肉を使ったメニュー。「中勢以上の熟成豚肩ロースの炭火焼き」（3456円）は益子「川田農園」の彩り豊かな野菜も主役。ワインとともにゆっくり味わいたい。



ダ・オルモ

33

港区虎ノ門5-3-9 ゼルコーパ5 1F
☎03-6432-4073
火～金 11:30～14:00、月～土 18:00～23:00 / 日・祝休



India



手間と時間をかけて仕上げる
スパイスが効いたカレー

カレー好きの間では知らない人はいないといわれる有名店。店内は常にスパイスの香りで満ち、食欲が刺激される。1日に30kg使うという玉ねぎを1時間かけて炒め、10種類の炒ったスパイスをあわせて作るソースはインドの家庭の味。人気は1皿で2種類のカレーが味わえるカレーコンビネーションで、定番はチキン&キーマカレーライス（1100円）。ひと口食べるだけで口の中いっぱい広がる辛さとうまみに、とりこになる人続出。



カレー専門店 フィッシュ

34

港区赤坂1-12-32 アーク森ビル3F
☎03-5562-4305
平日 11:00～22:30、土・日・祝 11:30～20:30 / 無休



『good things』とは？

Global
NeighborhoodUrban
Green

「見つけて、知って、もっと楽しむ」をコンセプトに、六本木一丁目・神谷町・溜池山王エリアで街づくりを進める新日鉄興和不動産、住友不動産、森ビルの3社が集まって制作したエリアブックです。

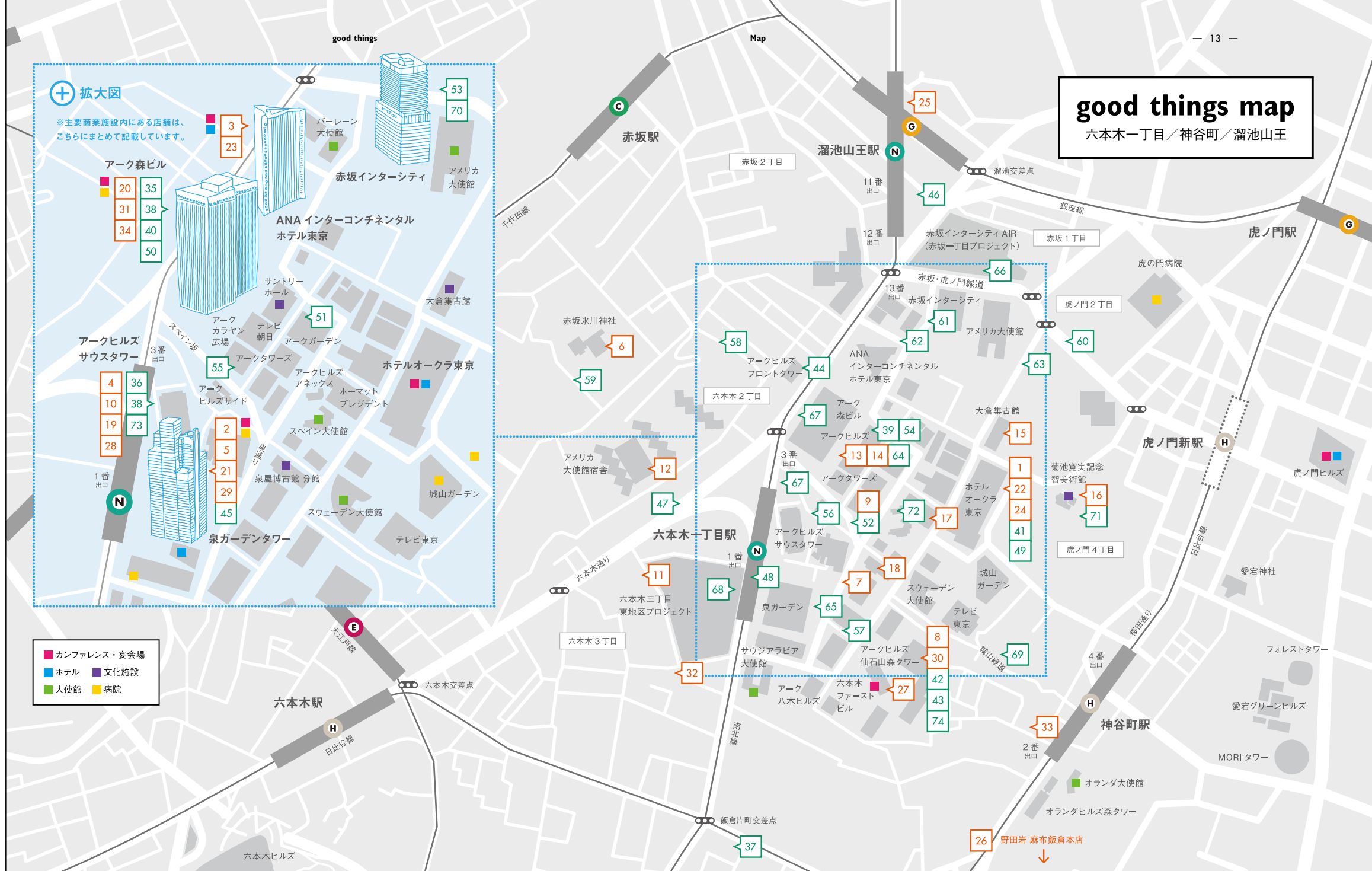
お祭りやイベント、大使のおすすめ、世界各国の料理などを集めた「Global Neighborhood」編と、庭のある風景、お散歩コース、桜やマルシェなどを集めた「Urban Green」編。大きく2つのテーマに分けて、この街で働く人・暮らす人がおすすめするモノやコトを紹介していきます。

good things
2016年3月30日発行

発行：good things 制作委員会
(新日鉄興和不動産株式会社、住友不動産株式会社、森ビル株式会社)

写真：鍵岡龍門、村林千賀子
取材・文：増田綾子、古山京子
デザイン：渡辺光子
編集：株式会社リライトw
企画・制作：株式会社リライト

※本誌に掲載した情報は発行日時点のもので、変更されている可能性があります。
※商品などの価格は、すべて税込みです。



Global Neighborhood

1. コーヒーショップ
ダイニングカフェ カメリア
2. PAUL 六本木一丁目店
3. カスケイドカフェ
4. BE A GOOD NEIGHBOR COFFEE
KIOSK ROPPONGI
5. エスフォルタ六本木
6. 赤坂氷川神社
7. 泉通りの桜
8. アークヒルズ仙石山森タワーのオブジェ
9. スペイン坂
10. 福島屋 (ナチュラルフードマーケット)
11. 竹やん
12. コミュニティ・
フレンドシップ・デー
13. アークヒルズ音楽週間
14. 赤坂蚤の市 in ARK HILLS
15. 大倉集古館
16. 菊池寛実記念 智美術館
17. ホームマート プレジデント
18. 泉屋博古館 分館
19. Ruby Jack's Steakhouse & Bar
20. 築地すし好 JIN 仁
21. balcony Restaurant & Bar
22. スコティッシュバー
バー ハイランダー
23. ビエール・ガニエール
パン・エ・ガトー
24. テイクアウトコーナー
シェフズガーデン カメリア

25. 有職
26. 野田岩 麻布飯倉本店
27. レストラン ツム・アインホルン
28. フェルミンチョ ボカ
29. BLT STEAK ROPPONGI
30. 華都飯店
31. タコリッコ
32. ソイ六本木
33. ダ・オルモ
34. カレー専門店 フィッシュ

Urban Green

35. オーバカナル
36. Ruby Jack's Steakhouse & Bar
37. キャンティ 飯倉片町本店
38. スターバックス コーヒー
39. ヒルズマルシェ in アークヒルズ
40. カレー専門店 フィッシュ
41. ホテルオークラ東京
42. 華都飯店
43. 港区の掲示板
44. 野瀬園 本店
45. 泉ガーデン

46. 浅田家
47. 都営バス 01 系統
48. 東京メトロ南北線
49. スコティッシュバー
バー ハイランダー
50. TechShop Tokyo
51. オープンガーデン
52. スペイン坂のあじさい
53. 赤坂インターシティ /
ホームマート バイカウントの
ヒマラヤ杉と竹の小径

54. ヒルズマルシェ in アークヒルズ
55. ビビアン
56. 道源寺坂
57. 御組坂
58. 南部坂
59. 本水川坂
60. 汐見坂
61. 新榎坂
62. 桜坂
63. 雲南坂
64. アークヒルズ さくらまつり

65. 泉ガーデン お花見まつり
66. 赤坂インターシティ AIR (赤坂一丁目プロジェクト) / 赤坂・虎ノ門緑道
67. 港区自転車シェアリング
68. 六本木三丁目東地区プロジェクト
69. 城山緑道
70. 響 風庭 赤坂
71. レストラン ヴォワ・ラクテ
72. RANDY
73. ルーフトップ・ラウンジ
74. まちの本とサンドイッチ

Green Collection

街の中にある
いろんな“グリーン”、集めてみました。

グリーンといっても、庭や植物だけとは限らない。探してみると、あの名店の定番メニューにスイーツにお酒、ロゴや看板、乗り物まで。街のそこそこに、いろんな緑を発見！



オーバカナルのニース風サラダとビール



華都飯店のアボカドのスープ



港区の掲示板



野瀬園の抹茶
& 抹茶ソフトクリーム



世界大会日本代表のキウイマティーニ



キャンティのスパゲッティバジリコ



スターバックス コーヒーのロゴ



泉ガーデンのウォール



浅田家の草餅



都営バスのボディカラー



ヒルズマルシェの野菜



フィッシュの看板



ホテルオークラ東京のロゴサイン



東京メトロ南北線のラインカラー



バー ハイランダーのモヒート



TechShop Tokyo の
3D プリント出力見本

35_「オーバカナル」(☎03-3582-2225) の、オープン当初からあるボリュームたっぷりの「ニース風サラダ」(1944円)とフランスのビール「クローネンブルグ」(864円)。
36_生のキウイをその場ですりつぶして作る「Ruby Jack's Steakhouse & Bar」(P.8)の「キウイのマティーニ」(1500円・サービス料別)。
37_多くの著名人から愛される伝説のイタリアンレストラン「キャンティ 飯倉片町本店」(☎03-3583-7546)のスパゲッティバジリコ(2700円)は、1960年の創業以来変わらない味。
38_約20年前、それまで茶色だった「スターバックス コーヒー」のロゴは、ダークグリーンを基調としたものに変更。描かれるのはギリシャ神話の2つの尾を持つ人魚「サイレン」。写真はアークヒルズサウスタワー店(☎03-5572-6835)スタッフの松本理沙さん。近くにアークヒルズ店(☎03-3224-3495)も。
39_「ヒルズマルシェ」(P.17)には新鮮な野菜がいっぱい。
40_「カレー専門店 フィッシュ」(P.11)の看板は黄緑。店名はFineness・India・Splendid・Hottestの略。
41_「ホテルオークラ東京」(P.2～3、9)のロゴサインは青銅色。
42_「華都飯店」(P.10)の名物、蟹入りフカヒレとアボカドのスープ(1728円)は、アボカドビュレに鶏の出汁や紹興酒をあわせて作られる風味豊かな一品。

43_港区の掲示板も緑色で、街に溶け込んでいた。
44_創業126年の老舗茶問屋「野瀬園 本店」(☎03-3582-3671)の抹茶(260円)と抹茶ソフトクリーム(310円)。全国の産地から直接仕入れた茶葉が揃い、5～6月には抹茶の新茶も登場。
45_全面ガラスのカーテンウォールの「泉ガーデン」。緑色に見えるのは、熱線吸収ガラスを使っているため。
46_溜池山王で100年以上続く和菓子屋「浅田家」(☎03-3583-3445)の看板商品、豆大福と並んで人気のがよもぎが香り立つ草餅(ともに190円)。
47_渋谷～新橋間を数分おきに走る都営バス01系統は、この街に暮らす人にとって欠かせない存在。都バスの中でも乗客数の多い重要路線。
48_目黒駅から赤羽岩淵駅を結ぶ東京メトロ南北線のラインカラーは「エメラルド」。
49_ホテルオークラ東京「バー ハイランダー」(P.8)のミントをふんだんに使ったモヒート(ノーマル1800円、キングモヒート2000円)。アメリカのノーベル賞作家が愛したレシピを再現。
50_アメリカ発の会員制DIY工房「TechShop Tokyo」(☎03-5797-7110)が、2016年4月グランドオープン。日本に数台しかない工作機械や金属加工機器、業務用ミシン、3Dプリンタなど約50種の工作機器を設置。3Dプリンタの樹脂は好きな色を持ち込んで出力できる。



オープンガーデン

51

日程：春、秋など年間数回
場所：アークヒルズ内 サントリーホール屋上 ルーフガーデン

いつもは入れない
“秘密的花園”を特別公開

上から眺めることを前提に、英国旗・ユニオンジャックを模してデザインされたルーフガーデンには約100種、5000株以上の花々が。入るのは年間数回のみ、専任ガーデナーによるツアーなども開催されている。

Four Seasons

都会のガーデンで
四季折々の緑を味わう。

高層ビルが建ち並ぶ中にも、ほっとひと息つける緑豊かな場所が。ゆっくり眺めたり、のんびり散策したり、つかの間の非日常気分。



雨の季節は足元に注目
あじさいの隠れた名所

スペイン大使館へと続く上り坂、桜並木の足元に植えられているのは、ヤマアジサイをはじめ約40種300株ものあじさい。毎年5〜6月になると、歩道の両脇に咲き乱れ、その美しさに多くの人々が足を止める。

スペイン坂のあじさい

52



樹齢数百年の大木と近隣から愛される散策路

2005年に誕生した赤坂インターシティ／ホームマートバイカウント。敷地の南側半分は斜面緑地を生かし、池とせせらぎを中心に、ツツジやモミジ、キンモクセイなどが植えられ、季節の移ろいを感じられる散策路に。アメリカ大使館側に面した道には竹が植えられ、竹の小径として近隣住民やワーカーに親しまれている。数

百年前からこの地にあったヒマラヤ杉とクスノキの大木も、移植を経て入り口に立ち、街を見守り続ける。

赤坂インターシティ／
ホームマートバイカウントの
ヒマラヤ杉と竹の小径

港区赤坂1-11-44/-40 赤坂インターシティ／ホームマートバイカウント

53

Hills Marche

ヒルズマルシェで
新鮮な野菜と食材を手に入れる。



“つくり手に出会えるマルシェ”をコンセプトに、2009年からスタートした「ヒルズマルシェ」は、旬の野菜やフルーツをはじめ、海産物、パンや焼き菓子、ジャムなどの加工品、花、アクセサリや帽子といったクラフトなどが、全国から一同に会する。農産物はいずれも採れたてで、ふだんなかなかお目にかかれない珍しいものも。旬のものやおいしい調理法をたずねるなど、生産者と会話を交わすのもマルシェならではの楽しみ。このほか、さくらまつり (P.19) や音楽週間 (P.6) にあわせ、楽器や和紙づくり、草木染めといったワークショップの開催、家庭で眠っている洋服を集め、再び使ってくれる人の手に渡す「洋服ポスト」開設なども行っている。

ヒルズマルシェ in アークヒルズ

54

日程：毎週土曜10:00〜14:00 (雨天決行・荒天中止)
会場：アークヒルズ アーク・カラヤン広場



毎週土曜日に行われ、開催回数は300回以上。外国人も数多く訪れる様子は海外のマーケットさながら。キッズスペースもあるので、おいしいパンやコーヒーを片手に、家族でゆったりと回るのも楽しい。

With Flower

ビビアンで美しい
花のある生活を。



洗練されたクラシカルモダンな店内。ヨーロッパにあるものづくりのアトリエを思わせる、グレイッシュカラーを基調としたシックな店構えは、年齢性別問わず気軽に入りやすい。

ビビアン

55

港区六本木1-3-40
アークタワーズウェスト
☎03-5114-0087 11:00〜20:00
(土〜19:00) / 日・祝休

カラヤン広場の片隅に佇む「ビビアン」は、パリのフラワーショップでスタージュ(研修)した前田直愛さんが主宰する生花店。前田さんがつくるアレンジメントは、ヨーロッパの気品と和の持つ静謐な佇まいを兼ね備えた“研ぎ澄まされたシック”がコンセプト。その卓越したセンスは幅広い層から支持され、サッカー元日本代表監督も行きつけだったとか。「気軽に花を贈ってほしい」という思いから、1本から購入可、ラッピングもしてくれる。



道源寺坂

56

坂上にある道源寺左堀のツタ、中腹にある古木の緑が美しい。

good things

— Column —

タモリが語る「よい坂」の条件とは…

『新訂版 タモリのTOKYO
坂道美学入門』（講談社）

勾配が急で、湾曲していて、まわりに江戸の風情があり、名前にいわれがあること。日本坂道学会副会長、タモリ氏自ら撮り下ろした写真とともに、東京の37の坂と散歩コースを紹介する。



御組坂

57

幕府の先頭部隊「御先手組」の屋敷があったことにちなむ。



南部坂

58

「忠臣蔵」の名場面でもおなじみ。陰しく「難歩坂」とも。

History of the City

坂道を歩きながら、
この街の
歴史に思い巡らせる。

東京には、坂が多い。中でも坂の多いエリアとして知られているのが、ここ港区だ。港区のホームページのコンテンツ「坂図鑑」を見てみると、その数なんと86。六本木一丁目、神谷町、溜池山王周辺に絞っても10を超える、まさに坂のある街といえる。

日本坂道学会副会長でもあるタモリ氏は、著書の中で、よい坂の条件に「まわりに江戸の風情がある」ことをあげている。言われて

みれば、東京の坂には江戸時代から続く名前がつけられていて、それぞれに由来がある。お寺や神社、大名屋敷など、その場所にあった（あるいは今もある）ものにちなんでいた、かつて海が見えたというように、地形にちなんでいた、……。ビルが建ち、昔の面影は消えても、坂はそのまま。上り下りしながら、街の歴史に思いを巡らせる。たまには、そんな散歩も楽しい。

ビルが建ち、昔の面影は消えても、坂はそのまま。上り下りしながら、街の歴史に思いを巡らせる。たまには、そんな散歩も楽しい。



本永川坂

59

氷川神社の木立と緩急ある勾配、タモリ氏も絶賛する名坂。



汐見坂

60

名前のとおり、江戸中期以前にはここから海が見えたそう。



新桜坂

61

坂下に米国大使館に続く「櫻坂」、坂上にはヒマラヤ杉が。



桜坂

62

明治中期に新しく作られた道筋。現在も変わらず桜の名所。



雲南坂

63

徳川家康らが信頼した僧、嶺南が由来。いつしか嶺が雲に。

Urban Green

— 19 —

Cherry Blossoms

六本木一丁目が
桜の名所だって、知ってました？



上／RANDY (P22) のテラス席は大人気。下／両脇にソメイヨシノなどが植えられた桜坂（左）と泉通り（右）は、満開の桜のトンネルが圧巻。



— Column —

泉ガーデンに咲く、いろんな桜を見つけよう



ソメイヨシノ



十月桜



太閤千代しだれ



暖地桜桃

ソメイヨシノほか、秋にも花をつける「十月桜」、豊臣秀吉による“醍醐の花見”の桜の子孫「太閤千代しだれ」、さくらんぼの実をつける「暖地桜桃」などなど、時期や彩りも異なる様々な桜が楽しめる。

アークヒルズの外周沿いにある「桜坂」と「スペイン坂」、そして泉ガーデンの泉通りを合わせると約220本、全長1キロにもおよぶ桜のトンネルが街を彩る春。桜の開花に合わせて、アークヒルズでは花人・赤井勝氏による装花を鑑賞しながら、食事やワークショップが楽しめる「さくらまつり」を。また、泉ガーデンでも、スイーツが並ぶマルシェにマーケットなど、多くの人でにぎわう「お花見まつり」を開催。盛りだくさんのイベントやライトアップされた幻想的な夜桜に誘われ、訪れる人も年々増えている。今や六本木一丁目は、都内有数の桜の名所になったのだ。

アークヒルズ さくらまつり

64

日程：4月上旬

場所：アークヒルズ アーク・カラヤン広場ほか

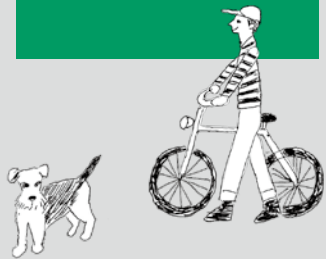
泉ガーデン お花見まつり

65

日程：3月下旬～4月 場所：泉ガーデン内

Take a Walk

Urban Green
スポットを巡る
おすすめ
散歩コース



港区自転車シェアリング

緑道歩きに疲れたら、会員登録すれば、区内30ヵ所以上のポートで自転車のレンタル＆返却が可能。千代田区、中央区、江東区とも連携。30分162円（延長30分108円）。港区自転車シェアリング運営事務局 ☎0120-10-3196 <http://docomo-cycle.jp/minato/>



地形を生かした広場で憩う 六本木三丁目東地区プロジェクト

泉ガーデンと一体となる、緑豊かな再開発プロジェクト。複雑な地形の特徴を活かし、エリアごとに台地、丘、谷に見立てた緑あふれる広場が生まれ、神谷町から泉ガーデンにかけての緑の散歩道が、さらに六本木駅方面へとつながっていく。2016年開業予定。

未来

人が流れる並木道をつくる
赤坂インターシティ AIR
(赤坂一丁目プロジェクト)
／赤坂・虎ノ門緑道

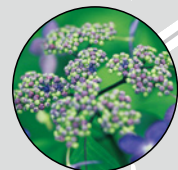


広場をつかって人を集めるのではなく、森の中にオフィスビルがあり、そこを縫うように人が行き交う並木道をつくるという発想からスタート。緑も無理に刈り込まず、虫や鳥などが自然と育つ環境を目指す。ホテルオークラ、アメリカ大使館など、地域とも連携しながら進めるプロジェクト。2017年9月開業予定。

ヒマラヤ杉
→ P.16



ヒルズマルシェ
→ P.17



スペイン坂のあじさい
→ P.16



泉ガーデンの桜
→ P.19



桜並木～桜坂
→ P.19



城山緑道



神谷町駅からスウェーデン大使館にかけて続く緑道で、1991年の城山ガーデンの誕生にあわせて整備された。木漏れ日がか心地よい緩い坂道は、車や自転車などが入れないため、お散歩にはぴったり。

坂道
→ P.18



GOAL

START

— Column —

このエリアを空から見てみると…



左ページの散歩コースの一部を空撮した写真を眺めると、このエリアにいかにも緑が多いかがよくわかる。周辺には進行中のプロジェクトも多く、近い将来、グリーンが占める割合はさらに増えるはず。

Take a Walk

城山緑道～虎ノ門
未来の緑道そぞろ歩き。



まるで避暑地を思わせる、鬱蒼と生い茂る木々。このエリアの魅力のひとつに、美しい緑や季節の花々が楽しめる緑道がある。おすすめは、本誌に掲載されているさまざまなスポットを巡る、左のコース。神谷町駅をスタートして、2020年開業予定の虎ノ門新駅へと至る、およそ30～40分の道のりだ。

まずは、城山ガーデンを越え、泉ガーデンをへてアークヒルズへ。3月から4月にかけては泉通りから桜坂へと続く桜のトンネルを、

梅雨の時期にはスペイン坂のあじさいを眺めるのも楽しい。マルシェでちょっとひと息いたら、いよいよ後半戦。樹齢数百年といわれるヒマラヤ杉を眺めつつ進む……と、ここからは、ちょっと未来のお話。現在、地域のメンバーが集まり、アメリカ大使館前の通りを850mにわたる「赤坂・虎ノ門緑道」として整備する構想が進行中。近い将来、きっとひとつにつながるこの散歩道、予習がてら、そぞろ歩いてみてはいかが？



和の風情漂う庭を一望するこだわりのダイニング

ダイニングバーの先がけとして知られ、現在、都内に11店舗を構える「響」。ここ「風庭 赤坂」は、空間はもちろん、器、料理すべてにおいて、贅を尽くしたもてなしを提供してくれる。天井高のあるメインダイニングから望むのは、里山を思わせる広大な和の庭。みずみずしい新緑と水盤が爽やかな涼を運ぶ

夏、木々が色づく秋と、四季折々の変化を楽しめるため、ウエディング会場としても人気は高い。また、開放的な雰囲気のメインダイニングとは対照的に、竹林を眺める落ち着いた雰囲気の個室、VIPルームなども備え、数多くの宴席にも使われている。

季節の食材をふんだんに使用した料理は、

1〜2ヵ月ごとに変わる「旬香コース」をはじめとする4種のコースに加え、アラカルトメニューも50種類と充実。昼間はもちろん、ライトアップされる夜の庭も美しく、家族や友人と記念日に、また同僚との会食などにも使えそう。移ろう季節を感じる空間と料理で、大切な人と特別な時間を過ごしたい。



響 風庭 赤坂店

70

港区赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ2F
☎ 03-5545-7615 11:30〜14:30、
17:00〜23:00 / 土・日・祝休

まだまだあります“緑の特等席”のあるお店

都会の喧騒を忘れさせる
100年の歴史をもつ日本庭園



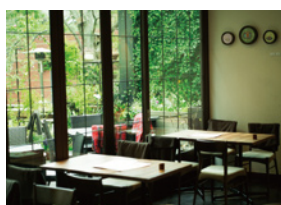
大きなガラス越しに美しい日本庭園が望める。「菊池寛実記念 智美術館（P.7）」併設のフレンチレストラン。“天の川”を意味する店名どおり、夜はまるで満点の星空のような天井照明が幻想的な空間をつくり出す。

レストラン
ヴォワ・ラクテ

71

港区虎ノ門 4-1-35
☎ 03-5733-5135
11:30〜22:00 / 月休

緑に囲まれたテラス席が
目印の一軒家レストラン



アークヒルズの裏手、桜並木に面したテラスレストラン。桜のシーズンには、お花見ランチ目当てに訪れる人々が開店前から列をなすほどの人気。初夏から夏、緑が生い茂る時期に木陰でひと休みするのもおすすめ。

RANDY

72

港区六本木 1-3-37
アークヒルズアネックス
☎ 03-3568-2888 11:00〜22:30 (土・日・祝〜20:30) / 無休

開放的な屋上庭園で
贅沢な夜のひとときを過ごす



アークヒルズサウスタワーの屋上庭園に夏季限定で登場するビアガーデン。緑に囲まれ、夜風を感じながら、ソファでゆったり。アパタイザーやグリル料理が充実するほか、手ぶらでバーベキューができるプランも。

ルーフトップ・ラウンジ

73

港区六本木 1-4-5
アークヒルズサウスタワー
スカイパーク（夏季のみ営業）

芝生の上で、本を片手に、
おいしいパンとコーヒーを



「まちの保育園 六本木」の軒下にある、地域に開かれた小さなお店。人気店「バーラー江古田」監修のサンドイッチとパン、下北沢の書店「B&B」とnumabooksセレクトによる本を、店の前の芝生で楽しんで。

まちの本とサンドイッチ

74

港区虎ノ門 5-5-1
アークヒルズ仙石山テラス
☎ 03-5401-3930
11:30〜17:00 / 土・日・祝休

Green Spot

風にそよぐ葉音、
揺れる葉陰——。
自然を満喫できる
緑の特等席へ。

Urban Green

美しい庭が楽しめるお店に、
緑道や坂、マルシェまで。
この街にある緑あふれる
風景をご紹介します。

天井まで全面ガラス張りの「響 風庭」のメインダイニング。そのほか店内には落ち着いた雰囲気の個室も。

in _____
Roppongi-itchome,
六本木一丁目
Kamiyacho,
神谷町
Tameike-sanno
溜池山王

good things

この街で
見つけて、知って、
もっと楽しむ。
74のモノとコト。

Urban Green

contents

“緑の特等席”があるお店
未来の緑道そぞろ歩き
六本木一丁目は桜の名所？
坂道を歩いて、街の歴史を知る
マルシェ＆花のある生活
都会のガーデン四季折々
いろんな“グリーン”集めました